

プレスリリース [2023 年 1 月 13 日]

(計 2 枚)

カゴメ株式会社と共同で、野菜摂取量推定機「ベジチェック®」を活用した小学生向けの食育授業を開発

町田市教育委員会とカゴメ株式会社は、市内の小学生が野菜について楽しく学び、野菜を摂取することの良さを理解した上で、食生活の中で野菜摂取量を増やしていくことを目的に、カゴメ株式会社が提供する野菜摂取量推定機「ベジチェック®」※1を活用した食育授業を共同開発しました。

食育授業を 2023 年 1 月から 3 月にかけて市内小学校 4 校において、市教育委員会・市立小学校・カゴメ株式会社が共同して実施し、児童に提供します。実施結果を踏まえて改善を行った後、2023 年 4 月以降市内のすべての公立小学校において展開する予定です。

■ 名称：「まち☆ベジ、もり☆もり！大作戦」

■ 取組の特長

- (1) 「野菜を楽しく摂ろう！」を授業のコンセプトに、長年野菜を使用した食品を提供すると共に、野菜に関する食育活動を展開してきたカゴメ株式会社のノウハウを用いて、児童が野菜の摂取の必要性などを楽しく、わかりやすい内容であること
- (2) 野菜に苦手意識を持つ児童を含む、すべての児童が野菜を摂取しやすい取り組み例を盛り込んだ内容であること
- (3) 児童の野菜摂取量を可視化し、取り組みの中で目標管理を行うこと
- (4) 児童が行った取り組みと「ベジチェック®」の測定値との関係を分析することで野菜摂取を増やすための効果的な行動例を抽出すること
- (5) 児童を通じてご家庭の皆様にも食生活改善のきっかけとできること

■ 授業内容

(1) 食育授業の提供

栄養教諭や学校栄養士、担任教諭が中心となり野菜摂取の必要性、野菜の栄養及び野菜の上手な摂り方などの食育指導を行います。また、保護者向けにご家庭で取り組めるアイデア例をご案内します。2023 年 3 月までに授業を実施する 4 校に関しては、カゴメ株式会社の社員もゲストティーチャーとして食育授業に登壇します。

(2) 野菜摂取量の可視化による目標設定

カゴメ株式会社が提供している、手のひらをセンサーにのせるだけで野菜摂取量を推定できる「ベジチェック®」を活用し、児童の野菜摂取状況を可視化します。可視化されることで、野菜が不足しているかを知ることが出来ると共に、野菜を摂取した成果が数字の変化としてわかることで、食生活改善の効果を実感することが出来ます。ベジチェックの測定データは個人が特定できないように処理したうえで、

この取り組みを評価するとともに、野菜摂取を促す取り組みなどとの関係を分析し、好事例を横展開していきます。

■ 実施校

市立小学校4校

高ヶ坂小学校、南第四小学校、鶴川第三小学校、鶴間小学校

※授業の取材を希望される場合には、町田市保健給食課にご連絡ください。

■ 町田市の食育の取り組み

町田市は食を通じた市民の健康的な生活の実現を目指して「第2次町田市食育推進計画」で野菜摂取量増を重点的な視点とし、様々な取り組みを行っております。小学校給食においては、市内産の食材や旬の食材、日本の行事食や郷土料理を取り入れながら、成長期の児童の発育に必要な栄養や食品構成を考えて多彩な野菜を活用した献立を作成しており、特徴的な取り組みとして、年2回、全校で町田産農産物ブランド「まち☆ベジ※2」を使用した「まち☆ベジ給食」を実施しています。

■ カゴメの健康サービス

カゴメ株式会社は長期ビジョンとして「トマトの会社から、野菜の会社に」を掲げ、野菜の価値を活かした様々な商品をお届けし、人々の健康に貢献したいと考えています。また、2018年からは、これまでの当社が長年実施してきた食育活動や、野菜の機能に関する研究活動を活かした、人々の食生活の改善を目的とした健康サービスの提供を行っています。

※1 野菜摂取量推定機「ベジチェック®」

自身の推定野菜摂取量が数十秒でわかる機器です。センサーに手のひらを当てるだけで結果がわかります。測定の簡便さが特徴で、他のサービスと組み合わせることで、より行動変容を促すことが期待できます。

注意)「ベジチェック®」は医療機器ではありません。表示値はあくまでも目安となります。

(詳細は、記者BOX内のチラシをご覧ください)

※2 「まち☆ベジ」

地産地消を推進していくために町田産農産物のシンボルマークとネーミングを一般公募して決定いたしました。「まち☆ベジ」と呼べるのは、町田市内在住の農業者、又は町田市内に農業経営の拠点がある農業者が、生産記録等の管理の下で生産した農産物です。

■ 本件に関するお問い合わせ先

学校教育部保健給食課 課長 押切 TEL 042-724-2177